

# ❖ 干布小学校だより

3月号 H31.3.20

天童市立干布小学校

校長 三好 義宏

## 修了おめでとうございます

—修了式校長講話より—

1年生と6年生は209日間、2年生から5年生までは210日間、干布小や地域に出かけて学習してきました。その間に、干布小では、4つのすてきな子供になって欲しいと考えて、皆さんと一緒に生活してきました。

1. 自ら考え、学び続ける子供 2. 思やりやをもち、つながりを深める子供 3. 生命を大切にすること 4. ふるさとを愛する子供です。

10月17日には、本当に干布小の子供たちが4つの子供のようになっているのか、たくさんの先生方に見ていただきました。「さすが干布小の子供たち、自分から進んで勉強している、友達とつながり話し合いながら自分の考えを確かめている、課題と生活が結び付いている」など、たくさんのおほめの言葉がありました。

さて、学年ごと振り返ってみます。振り返りのポイントは、今年の合言葉「つなぐ・問いかける」です。まず、1年生からです。入学式の時に私は、3つのお願いをしました。1つ目、自分を好きになれましたか？例えば、得意なことができてお友達に話せていますか。2つ目、友達を好きになれましたか？例えば、友達百人ではだめです、友達125人できましたか？ザリガニもハムスターとも仲良くなれました。3つ目、はてな？を好きになれましたか。たくさん、はてなを見つけられましたか。全員合格、全員進級です。

2年生です。学習発表会の十二支の劇、面白かったですね。友達とつながりながら、息を合わせて表現活動ができていました。学習中も、しっかりと落ち着いて、先生にたくさんの問いかけをし、たくさん学んでいましたね。中学年への準備バッチリ。全員進級です。

3年生です。新しい教科や学習につながり、問いかけてきましたね。理科と社会科が始まり、書写では毛筆を使って書初めもしました。できることや、分かることが増えました。地域とつながり、ふるさとを愛する点では、大根作りも大きな財産になりました。3年生も、全員進級です。

4年生です。本とつながる学年ナンバーワンでした。学校に来る日が、210日なのに借りた本が300冊を超える人が何人もいました。何を使って学ぶのかということでは、教科書・先生・問題集もありますが、本はだれにでも優しく語りかけてくれる、最高のツールです。3年生とつながり市の音楽会に参加し、きれいな歌声を響かせてくれた4年生も全員、高学年へ進級です。

5年生です。モンテディオと学校で一番つながった学年でした。生活や学習、総合的な学習の時間に、モンテがつながっていました。総合的な学習の面白さは、最後にどんな発信やアウトプットを目標にするのか考えられることです。また、来年は140周年を迎える干布小学校です。その最高学年として、3学期から準備を始めていますね。期待していますし、実行力のある5年生も、最高学年へ進級です。

なかよし学級のお友達も、交流学級と仲良くつながり、一生懸命自分のペースで学習できました。全員、次の学年へ進級を認めます。

一年間の、本校教育に対しましてのご理解ご協力、心より感謝申し上げます。

昨日は、平成30年度卒業式を挙行了しました。在校生にとっては22名の卒業生と最後の学習となりました。感謝と希望にあふれる式となりました。

## 卒業式に感動

